

# 令和5年度事業報告

## 社会福祉法人 神戸協和会

### 新型コロナウイルス禍における法人の基本指針(3つのコア・テーマ)

#### 事業継続 (BCP)

…社会資源として将来にわたり持続的に事業展開できるよう、経営を安定させる。

#### 感染対策

…あらゆるリソースを活用し、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底する。

#### 安全確保

…防災、防犯対策やリスクマネジメントを徹底し、利用者と職員の安全を守る。

#### 〈概観〉

令和5年5月より新型コロナウイルス感染症の扱いが感染症法上「2類相当」から「5類」へ移行した。ウィズ・コロナの生活がまさに日常化したわけであるが、当法人においても散発的に利用者や職員、職員家族のコロナ感染が発生し、当年度も依然として油断することなく感染防止対策を徹底してきたところである。

一方、後の事業報告でもふれる通り、諸々の事情により利用者数が伸び悩む事業所もあり、前年度から続く諸物価の高騰の影響も相まって、他の多くの社会福祉施設(※)同様、当年度も厳しい経営を強いられる一年となった。

その中で、コア・テーマに掲げる「持続的な事業展開」を目指して、職員間の連携を緊密にし、各事業所内はもとより法人全体で協力し合いながら、収益の確保と経費の抑制につとめた。新年度でのさらなる経営の安定化に向け、当年度で蓄積できたリソースを法人・施設運営に投入し活かしていきたい。

※ 全国老人福祉施設協議会の調査によると、令和4年度は全国の特別養護老人ホームの6割強が赤字であった。平均の収支差率も-2.8となり前年度の実績を3.6ポイント下回った。

# 双葉学園 令和 5 年度事業報告

## 令和 5 年度 重点課題

- ① 社会的養育推進計画の加速化を促す。
- ② 発達障害の児童に対する専門的ケアの向上に取り組む。
- ③ 人材確保・育成・定着に向けた取り組み
- ④ 地域共生社会の実現
- ⑤ 災害時支援体制の構築

## ■ 入所児童の状況 (定員 35 名)

### ■ 初日在籍推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
児童数	22	26	26	23	22	23	23	24	26	28	30	30

平均 25.3 名

#### 入所人数：14 名

- 入所理由：・親の養育放棄 3 名 ・性的虐待 2 名  
 ・親の養育困難 4 名 ・母子関係の調整 1 名  
 ・親のネグレクト 1 名 ・親の心理的虐待 1 名  
 ・親の虐待 1 名 ・母子関係不調 1 名

- 措置元：神戸市こども家庭センター 11 名 ・ 堺市子ども相談所 3 名

#### 退所人数：7 名

- 退所理由：・家庭引取 5 名 ・自立進学 1 名 ・措置変更 1 名

### ■ 一時保護委託延人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
児童延数	33	31	30	140	137	75	98	47	32	10	0	22	655

受入件数：22 名 (19 ケース) … 内 4 名入所 (3 ケース)

### ■ 子育てリフレッシュステイ利用延人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
デイ	0	0	0	0	2	6	1	0	0	0	0	0	9
ショート	7	2	10	13	15	2	14	6	0	2	2	3	76

- ショートステイの内訳

神戸市： 1泊2日…6件 2泊3日…3件 3泊4日…1件 7泊8日…1件  
 尼崎市： 1泊2日…8件 2泊3日…1件 3泊4日…1件 4泊5日…1件  
 5泊6日…1件 10泊11日…1件

## ■ 事業項目

### ■ こども家庭庁の創設および児童福祉法改正をふまえたこれからの児童養護施設の在り方に即した取り組み

- ・子どもの権利や権利擁護のための仕組みに関する周知啓発として、パンフレットや権利ノートを活用しながら、職員に対して学習機会を設け、子どもに対しては生活での会話の中から関連付けて分かりやすく説明を行ってきた。また、意見を申し出るための意見箱の設置等により子どものアクセシビリティを確保した。

### ■ 子どもの人権擁護と最善の利益の保障の推進

- ・職員が中心となり、委員会活動（「権利擁護」「性教育」「虐待防止」）を実施。職員がテーマを設定し、年9回の学習会を行った。6月には「CAPプログラム(子どもへの暴力防止プログラム)」に全職員、一部児童(小学生まで)も取り組み、職員の『子どもの人権』への意識は高まっている。
- ・児童の学力向上に力を入れ、小学生には下校後、共有スペースで宿題と苦手な教科の復習に取り組んだ。中高生には大学生や塾講師の学習ボランティアを活用し、個別学習を行った。問題集を新たに一式購入し、ファイルで整理することで、学習がより効果的に行える環境作りを行うことができ、子どもたちの学習意欲が向上している。
- ・特別支援学校に通う子どもには送迎バスの停留所への送迎と自力通学に向けた取り組み、実習先の事前指導の機会など積極的に行っている。

### ■ 人材確保・育成・定着に向けた取り組み強化

- ・支援の質の向上を目指し、理事長によるOJT研修（防災・接遇・運営管理規定）を実施した。また、積極的に外部講師を招き、日々の処遇に活かせるようアンガーマネジメントやトラウマ、愛着障害等の研修の充実も図った。
- ・外部研修については管理職の指示だけでなく、職員からも『何を学びたいか』をアンケート等で把握し、より意欲をもって研修に参加できるように取り組んだ。

## ■ ひとりひとりの子どもに対する継続的な自立支援

- ・心理職員が中心となり、月1でユニット毎にアセスメント会議に取り組み、該当児童の自立支援計画の進捗確認や、児童の様子を多面的に（学校での様子・対人関係・学習面・弱みや強みなど）アセスメントする機会を設けている。トラブルがあった際には、緊急で処遇会議も実施し、支援方針の検討や情報の共有を図るなど、アセスメントを丁寧に行い、子どもたちへの支援を行えた。
- ・令和5年度より、本園のICTシステム（すこやか日誌）が変わり、児童情報を目的別により詳しく記録できるようになった。
- ・退所した児童には自立支援職員が中心に、子どもたちの苦手な行政手続き関係や、転居の手伝いなど積極的なフォローし、子どもの状況把握も行った。特別支援学校に通う子どもたちへの卒業後の住居を探すため、グループホームの見学や情報収集も行った。

## ■ 大規模災害に備えた支援体制の構築

- ・南海トラフなどの大規模災害にも備えるため、理事長に阪神淡路大震災の体験談を交えたOJT研修会を実施してもらい職員の防災、防犯意識を高める機会を設けた。また、「防犯・防災等対策マニュアル」の改訂に合わせて、防災備品を新たに、『拡声器・救命ボート・懐中電灯(手回し充電付)』等を拡充した。
- ・防犯のため、3月に学園のゲートを設置。以降、19時のゲート閉鎖と同刻のユニット玄関施錠を徹底した。
- ・令和5年度9月に、ふれまち街づくり協議会『つながりの手』が主催する安否確認訓練に初めて参加。地域社会の防災活動、地域イベントに協力し、連携を強化してきた。

## 令和5年度 ユニット行事一覧（一例）

月	日	実施ユニット	行事名	行き先
4	4	ひまわり	いちご狩り&BBQ	かさや（三田市）
	9	たんぽぽ	進級祝いでお花見	北公園
	22	すいれん	ザバイバルゲームで児童の親睦	Break Out 西宮
5	13	いちご	海の生物を観察しよう	海遊館
6	3	さくら	動物と触れ合おう	六甲山牧場
	18	たんぽぽ	未来（あす）へ広がる科学を楽しもう	神戸青少年科学館
	19	たんぽぽ	大好きなジブリを体感しよう	神戸ジブリ展
7	22	全ユニット	地域の夏祭りに行こう	鶴甲小学校
	26	ひまわり	夏のプールを満喫	姫路セントラルパーク
8	2・3	全ユニット	令和5年度恒例キャンプ行事	たまゆらの里
	23	全ユニット	スマイルキッズUSJ	USJ
9	24	全ユニット	上田桑鳩生家見学による文化探求&BBQ	上田桑鳩生家(三木市)
	30	全ユニット	賀正軒の麺打ち体験	双葉学園内
10	31	全ユニット	ハロウィン仮装パーティー	双葉学園内
11	23	全ユニット	みんなでアイススケート	スポーツセンター
	25	かえで・たんぽぽ	フットサル大会の参戦	しあわせの村
12	30	さくら・たんぽぽ	子どもたちの手作りご飯	ユニット内
1	1	さくら・たんぽぽ	初詣に行こう	八幡神社
	4	すいれん	初詣に行こう	西宮神社
	6・7	さくら・すみれ	夢未来号	沖縄
3	3	かえで・すみれ	ウィンタースポーツ行事	ハチ高原スキー場
	16	すいれん	スポチャで遊ぼう	ラウンドワン高槻
	17	全ユニット	卒送会	双葉学園内



# ファボール星陵 ファボール泉が丘

## 令和5年度事業報告

### 令和5年度 重点5課題

1. 新型コロナウイルス感染防止の徹底
2. 財務内容の強化と安定の確保
3. 競合優位性の追求
4. コンプライアンス（法令・社会規範等遵守）の理解と徹底
5. 「採用＋育成＋定着」の循環による人材確保

各サービス区分の目標 ～競合優位性を追求し、稼働率の向上・維持をはかる。～

## ファボール星陵

### ■特別養護老人ホーム

目標：稼働率 98.0% …月平均 56.8 名／定員 58 名

実績：88.6% …月平均 51.39 名／定員 58 名

- ・新型コロナ集団感染の影響を受け前年度末減らした入居者数の回復に向けて新規入居者の獲得につとめてきたが、死亡退居や入院されるケースも増え、目標には至らなかった。待機登録者が激減する中、空床期間をできるだけあけず、スムーズな新規入居をすすめるための尽力が今後一層求められる。

### ■併設ショートステイ

目標：稼働率 91.7% …月平均 11.0 名／定員 12 名

実績：81.2% …月平均 9.74 名／定員 12 名

- ・ロング入居（特養）と異なり利用流動性の高いサービスであるが、新規の契約者を獲得しながら稼働率の向上・維持につとめてきた。また、ショートステイ利用から特養入居へ移行するケースもあり、特養新規入居への「窓口」としての役割も果たしている。

### ■併設デイサービス

目標：利用者数…月平均（1日あたり）要介護 11 名・要支援 8 名

実績：利用者数…月平均（1日あたり）要介護 8.11 名・要支援 7.25 名

- ・高齢者人口の多い垂水区はデイサービスの事業所も多いことから年々競合状況が厳しくなっている。その中で、チラシやポスターなど PR ツールの活用、日替わりレクの提供など、積極的な取り組みを行い、新規利用者の獲得につとめた。

## ■居宅介護支援事業

目標：利用者数…要介護 20 名・要支援 10 名

実績（令和 5 年 10 月時点平均）：利用者数…要介護 15 名・要支援 7 名

- ・利用者や家族、関係機関からの信頼を得て、処遇困難なケースも数多く担当し、地域の老人福祉に貢献してきた。しかしながら、ケアマネージャーの家庭の事情による退職に伴い、令和 5 年 11 月をもっていったんサービスの提供を休止することとなった。今後人員体制が整いしだい再開する予定。

## ファボール泉が丘

### ■サテライト型特別養護老人ホーム

目標：稼働率 99.0%…月平均 19.8 名／定員 20 名

実績：稼働率 88.3%…月平均 17.66 名／定員 20 名

- ・期首より稼働率を維持してきたが、8月に死亡退居される方が相次ぎ、一時的に入居者を大きく減らした。もともと入居者の平均年齢が高く、介護度も高かったことがその一因である。その後、新規入居者の確保につとめてきたが、目標稼働率には届かなかった。

### ■小規模多機能型居宅介護事業所

目標：利用者数（月平均）…要介護 14.0 名・要支援 3.0 名

実績：利用者数（月平均）…要介護 15.08 名・要支援 2.58 名

- ・サービス種別の機能的特長を最大限活かし、利用者と家族のニーズにきめ細かく対応することで、既存利用者の定着をはかってきた。居宅介護支援事業所等からの信頼を得て新規利用者も獲得できた。結果、過去最高の収益を確保することができた。

### ■介護予防拠点

- ・新型コロナ禍の間は、入居者と家族との面会の場として活用してきたが、今後地域住民を対象とした介護予防のための活動を再開すべく計画中である。

## ファボール星陵・ファボール泉が丘 主な共通方針

### ■ 食事

ひとりひとりの利用者の健康状態に配慮した栄養ケアマネジメントを行いながら、質の高い食事の提供を行うとともに食の安全確保につとめた。

### ■ 行事

新型コロナ感染防止対策を徹底しながら、レクリエーションや行事を適宜再開してきた。秋祭りや遠足、コンサート、民族舞踊、双葉学園の児童との交流会など、事業所ごと、あるいは合同で開催し、利用者を楽しんでいただいた。

### ■ 新型コロナウイルス感染症対策

令和5年5月に感染症法の扱いが2類相当から5類へと移行したとはいえ、新型コロナの脅威はいささかも変わらない。その認識に立って、感染防止対策のさらなる徹底につとめた。

### ■ 職員研修

利用者の権利擁護のため、虐待防止・身体拘束廃止に関する職員研修に引き続き注力するとともに、新任職員を中心に体系的な研修計画を組んで、人材育成につとめた。

### ■ 地域貢献

役員法人をつとめる「ほっとかへんネットたるみ」の活動への参加を通じ、地域の福祉課題に積極的にかかわり、地域の中における法人・施設の存在感を高められるよう取り組んだ。